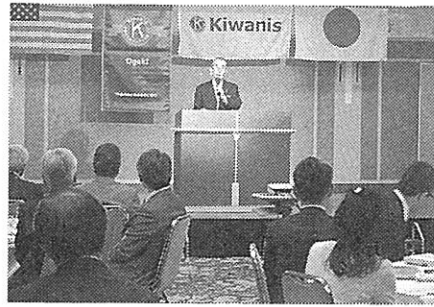


大垣キワニス

市民病院の子どもたちに こいのぼりなど記念品寄贈

設立1周年例会開く



あいさつする西脇会長

【大垣】大垣キワニスクラブは17日、大垣市方石の大垣フォーラムホテルで「設立1周年記念例会」を開催した。倉田康男キワニスクラブ日本地区ガバナーやスポンサークラブ・名古屋キワニスクラブの後藤晴男会長ら来賓を迎えて、記念講演や支援先への記念品贈呈式などを行った。

国際キワニスクラブの地域組織として昨年3月に設立。会員数は41人。

例会の冒頭、西脇史雄会長が「西濃地域主要企業の役員や管理職ら次代を担う若手幹部に加え、子どもたちの奉仕団体ということでも女性にも会員になってもらった。この1年、多くの方の協力を得てキワニスの名

が少しは知ってもらえるようになった。今年も地道にコツコツと活動を続けていきたい」とあいさつした。

続いて、倉田ガバナーが「わたしたちのキワニス」と題して記念講演し、「子どもたちを最優先に考える」キワニスの思いや取り組みに対する理解と、クラブ活動の充実を求めた。

この後、記念事業として、大垣市民病院に治療中の子どもたち用の「キワニスドール」(50個)とこいのぼりを、また院内学園「こぶし学級」用に書籍を、それ

ぞれ贈った。

このほか、キワニスドールの制作に協力してもらった平野学園へ感謝状を贈呈した。